

学校の安全



児童保健委員会の話し合い

【取組】

- 市立小中学校の校内等でのけがの減少

モデル地区 市立の全小中学校

校内の事故・けがを予防するために、児童生徒が中心になり、自主的な取組を進めます。また、地域の方々とも協力し、児童生徒の事故・けがの予防に努めます。

子どもの安全



子育てサロンでの学習教室

【取組】

- 家庭内等での事故・けがの減少
- 子育て中の親への支援

モデル地区 吉田南幼稚園、興国保育園、大竜子育てサロン、地域子育てネットEarly Years Center

幼稚園や保育園、子育てサロン、母親クラブで子どもの事故・けがの予防に取り組みます。また、子育て中の親へ情報提供を行います。

自殺予防



ゲートキーパー養成講座

【取組】

- 中高年(50~69歳)の自殺者数の減少

ゲートキーパーの養成や相談窓口の周知など、関係団体等と一緒に、自殺予防に取り組めます。

※ゲートキーパーとは「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」のこと

防災・災害対策



桜島火山爆発総合防災訓練（避難訓練）

【取組】

- 桜島地区における避難体制の再構築

モデル地区 高免町町内会

桜島地域の防災体制を検証し、桜島の大噴火に備えて、避難体制の再構築（強化）が図られるよう取組を進めます。

～世界基準の安心安全都市を目指して～ みんなでつくる セーフコミュニティ **かごしま**



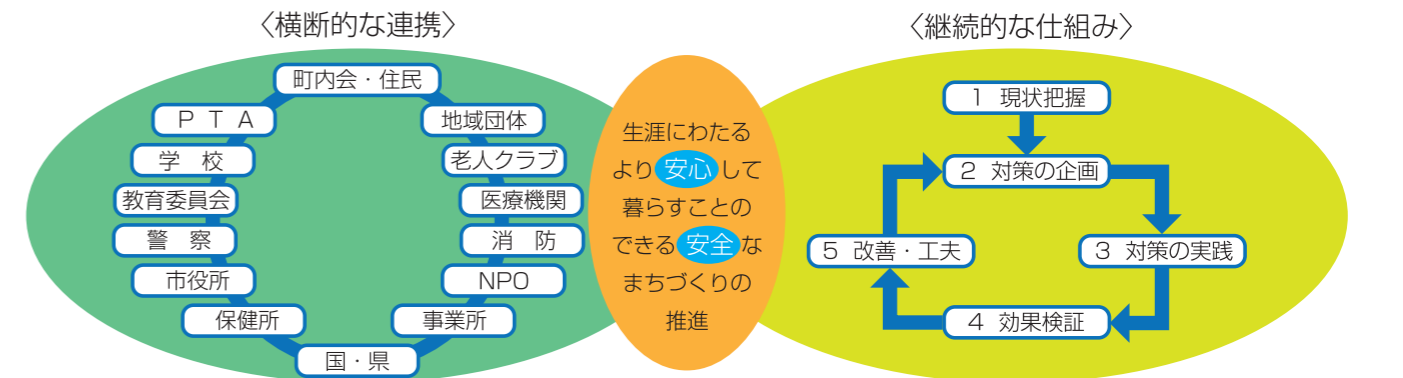
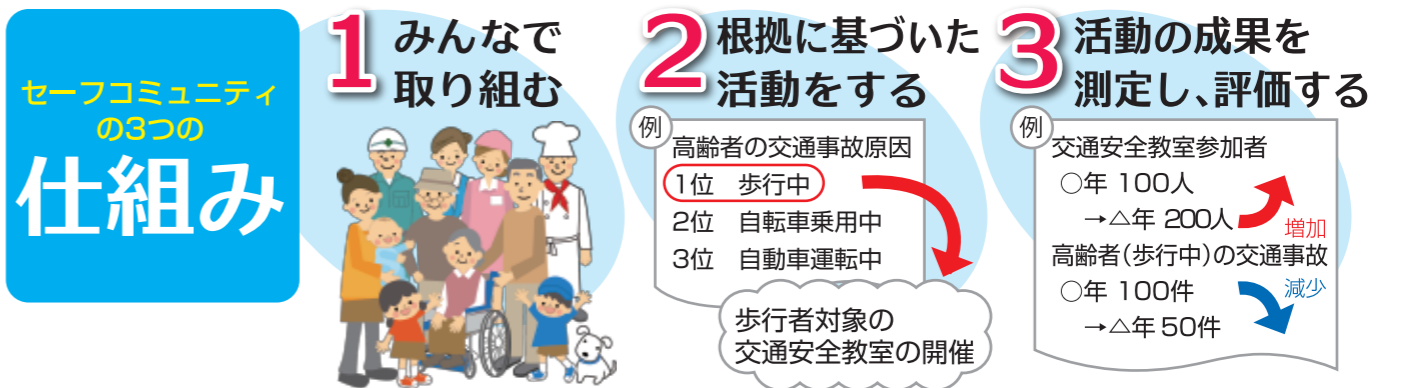
鹿児島市長 森 博幸

鹿児島市は、第五次総合計画の都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま」の実現に向け、WHO（世界保健機関）が推進するセーフコミュニティに取り組み、27年度の認証取得を目指します。

セーフコミュニティとは

「セーフコミュニティ」は、「事故やけがは原因を調べ対策を行うことにより、予防できる」という考えのもと、みなさんの身近で起こっている事故やけがを予防する取組のことで、

これまでの地域活動や事業を生かしながら、さまざまな統計データやアンケートなどの分析結果をもとに、地域住民、団体、行政が一緒になって、安心安全なまちづくりに向け、より効果的で継続的な活動を推進します。



本市の事故やけがの現状

○2007～2011(平成19～23)年の5年間における**不慮の事故**による**死亡者**は、**767人**

※不慮の事故:交通事故、転倒・転落、おぼれた、やけど、窒息、中毒など

○2011(平成23)年における**不慮の事故**による**死亡者**のうち、**70歳以上**の方が**約70%**

○2012(平成24)年における**自殺者**は**105人**



○**交通事故**による死傷者数は減少傾向にあるが、**10人**以上の**死亡者**と**4,000人**以上の**負傷者**の発生が続いている

○市立小中**学校の事故(けが)の発生件数**は減少傾向にあるが、2012(平成24)年度は、**小学生**で**17人に1件**
中学生で**12人に1件**の割合で発生している

○**DVの相談件数**は、2010(平成22)年度が**394件**、2011(平成23)年度が**441件**、
2012(平成24)年度が**554件**と増加傾向にある

○2012(平成24)年において**救急搬送**された**6歳以下**の**子ども**のうち、**一般負傷(転倒など)**によるものが**約80%**

○2012(平成24)年度における**被虐待児**のうち、**学齢前**の**子ども**が**過半数**を占めている

○**桜島の爆発回数**は、2009年から急激に増加し、2010(平成22)年から2013(平成25)年まで**4年**連続で、
年間**800回以上**を記録するなど、活発な活動が続いている

みんなは、これらの事故などが起きていることを知っていますか?

事故やけがのデータを分析し、本市の取組分野を検討

事故などを減らしていくためには、みんなで協力して取り組まないといけないね!

本市のセーフコミュニティで取り組む7つの分野

交通安全

目的: 交通事故の減少

学校の安全

目的: 児童生徒の事故の減少

自殺予防

目的: 自殺者数の減少

防災・災害対策

目的: 地域防災力の向上

DV防止

目的: DVの防止

子どもの安全

目的: 子どもの身体と心の安心・安全を守る

高齢者の安全

目的: 高齢者の外傷の減少
高齢者虐待の減少

分野別対策委員会とモデル地区の取組

7つの分野ごとに対策委員会を設置し、モデル地区等との連携を図りながら取組を展開しています。



みんなで知恵を出し合って、事故やけがの予防に気張っどー



モデル地区では、地域住民等による自主的な事故等の予防活動が実施されています。

モデル地区等の取組など、セーフコミュニティについては鹿児島市のホームページをご覧ください。

[鹿児島市セーフコミュニティ](#) [検索](#)

※DV防止、自殺対策は全市的な取組のためモデル地区の設置はありません。

交通安全



交通安全教室

【取組】

- 高齢者の交通事故減少
- 子ども(中学生以下)の交通事故減少
- 自動車による交通事故減少

モデル地区

吉野小校区

吉野校区安心安全ネットワーク会議が中心になって、地域みんなが楽しく参加できる交通安全教室の開催などの取組を行います。

高齢者の安全



転倒予防体操

【取組】

- 高齢者の転倒による外傷の減少
- 虐待や認知症への啓発・理解の促進

モデル地区

皇徳寺台東町内会

高齢者やその家族、地域住民とともに、けがの原因となる転倒予防のための取組や認知症や虐待に対する正しい認識を深め、虐待予防の取組を行います。

DV防止



デートDV講演会

【取組】

- 若年者に対する予防啓発の充実
- DVの正しい理解と気付きの促進

モデル地区

DVに対する正しい情報を提供し、男女は対等な関係であることを知ってもらうための取組を進めます。

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは配偶者や恋人など親密な関係にある又はあった者から振られる暴力のこと